

平成30年度予算 政策的新規・充実事業一覧

(単位：千円)

| 行 財 政 局 予 算 要 求 の 内 容     |   |        |                         |
|---------------------------|---|--------|-------------------------|
| 事業名                       | 事業概要  | 要求額    | 所管課<br>電話番号             |
| 「国際観光都市・京都」としての災害時避難誘導の推進 | 平成31年にはラグビーワールドカップ、平成32年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなど、本市においても、今後、今以上に外国人をはじめとする観光客の増加が見込まれる。こうした状況の中、避難誘導等の標識に使用する図記号「ピクトグラム」についても日本語の読めない外国人観光客にも一目で分かるように、全国的に標準化されることが望ましいことから、平成28年3月、国において新たな図記号「ピクトグラム」を策定し、各自治体に対し、その標準化に努めるよう通知しているところである。本市においても、広域避難場所の標示板及び誘導標識に当該「ピクトグラム」を採用し、有事の際の迅速な避難誘導の一助とする。  | 8,100  | 防災危機<br>管理室<br>212-6792 |
| レジリエンス戦略策定記念イベントの実施       | 平成30年度早期に予定している「京都市レジリエンス戦略」の策定を記念し、「100のレジリエント・シティ」選定都市であり、本市の姉妹都市でもあるパリ市（2018年姉妹都市提携60周年）、ボストン市（2019年姉妹都市提携60周年）、グアダラハラ市（2020年姉妹都市提携40周年）のCRO（レジリエンス統括監）を招待してそれぞれの都市のレジリエンスに関する講演、対談、シンポジウム等のイベントを行う。<br>これにより、市民、事業者、地域団体等のレジリエンスへの理解を深め、市民ぐるみでのレジリエントなまちづくりの実践に繋げていくとともに、「レジリエント・シティ京都」を広く発信し、本市姉妹都市、とりわけ姉妹都市提携60周年を迎えるパリ市との交流の活発化を図り、「レジリエント・シティ京都」を広く世界に発信することを目指す。<br>また、「明治期の東京奠都後の京都市の衰退と復興」を、千年を超える京都の歴史における、代表的なわかりやすいレジリエンス経験として市民に周知する等、明治150年記念事業としても関連付ける。 | 11,000 | 防災危機<br>管理室<br>212-6792 |
| 行 財 政 局 合 計               |   | 19,100 | 2件                      |